

第10回 1次方程式系の解空間



1. 1次方程式系の解空間

- **斉次1次方程式系** : 定数項ベクトルが $\mathbf{0}$ の1次方程式系
- 斉次1次方程式の**自明な解** : $\mathbf{x} = \mathbf{0}$
- 1次方程式系の**解空間** : 1次方程式系を満たす解全体から成る集合 ($\{\mathbf{x} \in \mathbb{C}^n \mid A\mathbf{x} = \mathbf{c}\}$)

性質

斉次1次方程式系の解空間 V は次の3つを満たす:

- (1) $\mathbf{0} \in V$, つまり $V \neq \emptyset$
- (2) $\mathbf{x}, \mathbf{y} \in V \Rightarrow \mathbf{x} + \mathbf{y} \in V$
- (3) $\mathbf{x} \in V, c \in \mathbb{C} \Rightarrow c\mathbf{x} \in V$

また, 係数行列の階数 r が列の数 n より小さいならば, 解空間 V には線型独立な $n - r$ 個のベクトルが存在する。さらに V の全てのベクトルはこれらの線型結合で表わされる。

斉次ではない場合

- 1次方程式系 $A\mathbf{x} = \mathbf{c}$ に**伴う**方程式系 : $A\mathbf{x} = \mathbf{0}$, つまり定数項ベクトルを $\mathbf{0}$ にした斉次方程式系

1次方程式系 $A\mathbf{x} = \mathbf{c}$ の解空間 U と, この方程式系に伴う方程式系の解空間 V のあいだには次の関係がある:

- (1) $\mathbf{u} \in U, \mathbf{v} \in V \Rightarrow \mathbf{u} + \mathbf{v} \in U$
- (2) $\mathbf{u}_1, \mathbf{u}_2 \in U \Rightarrow \mathbf{u}_1 - \mathbf{u}_2 \in V$
- (3) $\mathbf{u}_0 \in U$: 固定 このとき U に属するベクトル \mathbf{u} に対して適当なベクトル $\mathbf{v} \in V$ がただ一つ取れて $\mathbf{u} = \mathbf{u}_0 + \mathbf{v}$